

(別紙) 新旧対照表

変更前	変更後
<p>5 構造改革特別区域計画の意義 (2) 各学校のカリキュラムや指導内容の工夫を促進</p>	
<p>(省略) 今回、「<u>初級システムアドミニストレータ試験</u>」及び「<u>基本情報技術者試験</u>」の午前試験科目の免除を受けるためには、受験生が経済産業大臣による<u>初級システムアドミニストレータ試験</u>及び<u>基本情報技術者試験</u>に合格した者と同等の知識を習得させる科目を修了したことができると確認されることが必要であり、(以下略)</p>	<p>(省略) 今回、「基本情報技術者試験」の午前試験科目の免除を受けるためには、受験生が経済産業大臣による基本情報技術者試験に合格した者と同等の知識を習得させる科目を修了したことができると確認されることが必要であり、(以下略)</p>
<p>(3) IT人材の裾野拡大</p>	
<p><u>初級システムアドミニストレータ</u>と<u>基本情報技術者</u>は、情報処理に関する国家資格のうち、最も基本となる資格として位置付けられている。(以下略)</p>	<p>基本情報技術者は、情報処理に関する国家資格のうち、最も基本となる資格として位置付けられている。(以下略)</p>
<p>6 構造改革特別区域計画の目標</p>	
<p>今回申請する「新潟市IT人材ステップアップ特区」は、若手IT人材の育成を図るためのものであることから、具体的な数値目標(<u>初級システムアドミニストレータ試験</u>及び<u>基本情報技術者試験</u>の合格率の向上・合格者の拡大)を掲げ、(以下略)</p>	<p>今回申請する「新潟市IT人材ステップアップ特区」は、若手IT人材の育成を図るためのものであることから、具体的な数値目標(基本情報技術者試験の合格率の向上・合格者の拡大)を掲げ、(以下略)</p>
<p>(1) 合格率の向上</p>	
<p>(省略)、合格率、合格者数双方の向上の成果目標として、『<u>初級システムアドミニストレータ試験</u>及び<u>基本情報技術者試験</u>においては、(以下略)</p>	<p>(省略)、合格率、合格者数双方の向上の成果目標として、基本情報技術者試験においては、(以下略)</p>
<p>8 特定事業の名称</p>	
<p>1131 (1143、1145) 修了者に対する<u>初級システムアドミニストレータ試験</u>の午前試験を免除する講座開設事業 1132 (1144、1146) 修了者に対する<u>基本情報技術者試験</u>の午前試験を免除する講座開設事業</p>	<p>(削除) 1132 (1144、1146) 修了者に対する<u>基本情報技術者試験</u>の午前試験を免除する講座開設事業</p>

変更前	変更後
<p>別紙1</p> <p>1 特定事業の名称</p> <p>番号 <u>1131 (1143、1145)</u></p> <p>名称 <u>修了者に対する初級システムアドミニストレータ試験の午前試験を免除する講座開設事業</u></p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者</p> <p>(1) <u>講座の開設者</u></p> <p>宗教法人 <u>新潟大神宮</u></p> <p><u>新潟高度情報処理技術学院 (新潟市中央区西大畑町5195)</u></p> <p>学校法人 <u>新潟高度情報学園</u></p> <p><u>新潟情報ビジネス専門学校 (新潟市中央区明石1-3-5)</u></p> <p>(2) <u>修了認定に係る試験の提供者</u></p> <p><u>日本CIW普及育成協議会 (JACC)</u></p> <p><u>(東京都中央区京橋1-11-8 西銀ビル5F)</u></p> <p>3 当該規制の特例措置の適用の開始の日</p> <p><u>認定を受けた日</u></p> <p>4 特定事業の内容</p> <p>(1) <u>経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画</u></p> <p>① <u>新潟高度情報処理技術学院</u></p> <p><u>初級システムアドミニストレータ講座 (CIW併用コース)</u></p> <p><u>添付書類 (資料1) に記載のとおり。</u></p> <p>② <u>新潟情報ビジネス専門学校</u></p> <p><u>初級システムアドミニストレータ講座 (CIW併用コース)</u></p> <p><u>添付書類 (資料2) に記載のとおり。</u></p> <p><u>当該講座の運営に当たって、履修計画の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</u></p>	<p>削除</p>

変更前	変更後
<p>(2) <u>修了認定の基準</u></p> <p>① <u>民間資格を取得するための試験である「C I Wファンデーション」試験を受験し、これに合格することによって認定される「C I Wアソシエイト」資格を取得すること。</u></p> <p>② <u>前号に加え、各校が定める出席率を満たして出席した受講生について、修了認定に係る試験を受験できる有資格者と認める。有資格者に対し当該試験を実施し、日本C I W普及育成協議会(独立行政法人情報処理推進機構(I P A))が提供する問題を利用する場合は、独立行政法人情報処理推進機構(I P A))の定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。</u></p> <p><u>(各校が定める出席率)</u></p> <p>① <u>新潟高度情報処理技術学院 当該講座の3分の2以上</u></p> <p>② <u>新潟情報ビジネス専門学校 当該講座の3分の2以上</u></p> <p>(3) <u>修了認定に係る試験の実施方法</u></p> <p><u>修了認定に係る試験の問題は、日本C I W普及育成協議会(J A C C)が統一して作成したもののうち、独立行政法人情報処理推進機構(I P A)の審査を受け、適切であるものと認められたもの、または、独立行政法人情報処理推進機構(I P A)が提供する問題を利用する。</u></p> <p><u>修了認定に係る試験の会場は、当該規制の特例措置の適用を受けようとする者が特別区域内に指定した施設とする。</u></p> <p><u>修了認定に係る試験の採点事務は、当該規制の特例措置を受けようとする者の指定した者が、これを行なう。告示で定めるところにより、講座の修了を認められた者の氏名、生年月日及び試験の結果と当該民間資格の取得を証する写しと併せて、独立行政法人情報処理推進機構(I P A)に通知するものとする。</u></p> <p>(4) <u>民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目</u></p> <p><u>資格名称 「C I Wアソシエイト」</u></p> <p><u>試験科目 「C I Wファンデーション」</u></p> <p><u>試験項目 以下のとおり</u></p>	<p>削除</p>

変更前				変更後
				削除
	<u>出題分野</u>		<u>試験項目</u>	
(A)	インターネットの概論	1	インターネット・コンセプト	
		2	インターネット・インフラ	
(B)	インターネットの利用	1	Webコンセプト	
		2	Webサービスの利用	
		3	データ・リサーチ	
(C)	インターネットのメディア	1	オブジェクト・データ	
(D)	セキュリティの技術	1	セキュリティ・リテラシー	
		2	セキュリティ・マネジメント	
		3	セキュリティ・テクノロジー	
		4	ファイアウォール	
(E)	eビジネスの設計	1	eコマース	
		2	マネジメント・ナレッジ	
(F)	ネットワークの基礎	1	ネットワーク・コンセプト	
		2	ネットワーク・アーキテクチャ	
(G)	ネットワークの設計	1	ネットワーク・コンポーネント	
		2	ネットワーク・テクノロジー	
(H)	インターネットワーキング	1	インターネット・アーキテクチャ	
		2	ネットワーク・デザイン	
		3	ネットワーク・マネジメント	
(I)	インターネットサービスの構成	1	サービス・コンポーネントⅠ	
		2	サービス・コンポーネントⅡ	
		3	サービス・コンポーネントⅢ	
(J)	システムの開発	1	サーバサイド・スクリプト	
		2	データベース	
(K)	サイト開発の基礎	1	サイトデザイン・コンセプト	
		2	HTML	
(L)	サイト開発の実践	1	HTMLコーディングⅠ	
		2	HTMLコーディングⅡ	
		3	HTMLコーディングⅢ	

変更前				変更後
				削除
(M)	サイト開発の応用	1	ツールの使用	
		2	拡張言語テクノロジーⅠ	
		3	拡張言語テクノロジーⅡ	
<p>5 当該規制の特例措置の内容</p> <p>本特例措置は、当該講座の修了を認められた者が、講座の修了を認められた日から1年以内に、初級システムアドミニストレータ試験を受験する場合は、情報処理技術者試験規則別表に掲げる当該試験に係る試験の科目のうち、第1号に既定する情報処理システムに関する基礎知識及び第2号に規定する情報処理システムの活用に関する共通的知识を免除するものである。</p>				

変更前	変更後

<p>別紙 2-1</p> <p>1 特定事業の名称</p> <p>番号 <u>1132 (1144、1146)</u></p> <p>名称 <u>修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</u></p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者</p> <p>(1) 講座の開設者</p> <p>宗教法人 <u>新潟大神宮</u></p> <p><u>新潟高度情報処理技術学院 (新潟市西大畑町5195)</u></p> <p>学校法人 <u>新潟高度情報学園</u></p> <p><u>新潟情報ビジネス専門学校 (新潟市明石1-3-5)</u></p> <p>(2) 修了認定に係る試験の提供者</p> <p>日本C I W普及育成協議会 (JACC)</p> <p><u>(東京都中央区京橋1-11-8 西銀ビル5F)</u></p> <p>3 当該規制の特例措置の適用の開始の日</p> <p><u>認定を受けた日</u></p>	<p>削除</p>
<p>変更前</p>	<p>変更後</p>
<p>4 特定事業の内容</p> <p>(1) <u>経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画</u></p> <p>① <u>新潟高度情報処理技術学院 基本情報処理技術者講座</u></p> <p><u>(C I W併用コース)</u></p> <p><u>添付書類 (資料3) に記載のとおり。</u></p> <p>② <u>新潟情報ビジネス専門学校 基本情報処理技術者講座</u></p> <p><u>(C I W併用コース)</u></p> <p><u>添付書類 (資料4) に記載のとおり。</u></p> <p><u>当該講座の運営にあたって、履修計画の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</u></p> <p>(2) <u>修了認定の基準</u></p>	<p>削除</p>

<p>① <u>民間資格を取得するための試験である「C I Wファンデーション」試験を受験し、これに合格することによって認定される「C I Wアソシエイト」資格を取得すること</u></p> <p>② <u>前号に加え、各校が定める出席率を満たして出席した受講生について、修了認定に係る試験を受験できる有資格者と定める。有資格者に対し当該試験を実施し、日本C I W普及育成協議会（独立行政法人情報処理推進機構（I P A））が提供する問題を利用する場合は、独立行政法人情報処理推進機構（I P A）の定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。</u></p> <p><u>（各校が定める出席率）</u></p> <p>① <u>新潟高度情報処理技術学院 当該講座の3分の2以上</u></p> <p>② <u>新潟情報ビジネス専門学校 当該講座の3分の2以上</u></p>	
---	--

変更前	変更後
<p><u>(3) 修了認定に係る試験の実施方法</u></p> <p><u>修了認定に係る試験の問題は、日本C I W普及育成協議会（J A C C）が統一して作成したもののうち、独立行政法人情報処理推進機構（I P A）の審査を受け、適切であるものと認められたもの、または、独立行政法人情報処理推進機構（I P A）が提供する問題を利用する。</u></p> <p><u>修了認定に係る試験の会場は、当該規制の特例措置の適用を受けようとする者が特別区域内に指定した施設とする。</u></p> <p><u>修了認定に係る試験の採点事務は、当該規制の特例措置を受けようとする者の指定した者が、これを行なう。告示で定めるところにより、講座の修了を認められた者の氏名、生年月日及び試験の結果と当該民間資格の取得を証する写しと併せて、独立行政法人情報処理推進機構（I P A）に通知するものとする。</u></p>	削除

(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目

資格名称 「C I Wアソシエイト」
 試験科目 「C I Wファンデーション」
 試験項目 以下のとおり

	出題分野		試験項目
(A)	インターネットの概論	1	インターネット・コンセプト
		2	インターネット・インフラ
(B)	インターネットの利用	1	Webコンセプト
		2	Webサービスの利用
		3	データ・リサーチ
(C)	インターネットのメディア	1	オブジェクト・データ
(D)	セキュリティの技術	1	セキュリティ・リテラシー
		2	セキュリティ・マネジメント
		3	セキュリティ・テクノロジー
		4	ファイアウォール
(E)	eビジネスの設計	1	eコマース
		2	マネジメント・ナレッジ

変更前				変更後
				削除
(F)	ネットワークの基礎	1	ネットワーク・コンセプト	
		2	ネットワーク・アーキテクチャ	
(G)	ネットワークの設計	1	ネットワーク・コンポーネント	
		2	ネットワーク・テクノロジー	
(H)	インターネットワーキング	1	インターネット・アーキテクチャ	
		2	ネットワーク・デザイン	
		3	ネットワーク・マネジメント	
(I)	インターネットサービスの構成	1	サービス・コンポーネントⅠ	
		2	サービス・コンポーネントⅡ	

		3	サービス・コンポーネントⅢ
(J)	システムの開発	1	サーバサイド・スクリプト
		2	データベース
(K)	サイト開発の基礎	1	サイトデザイン・コンセプト
		2	HTML
(L)	サイト開発の実践	1	HTMLコーディングⅠ
		2	HTMLコーディングⅡ
		3	HTMLコーディングⅢ
		4	HTMLコーディングⅣ
(M)	サイト開発の応用	1	ツールの使用
		2	拡張言語テクノロジーⅠ
		3	拡張言語テクノロジーⅡ

5 当該規制の特例措置の内容

本特例措置は、当該講座の修了を認められた者が、講座の修了を認められた日から1年以内に、基本情報技術者試験を受験する場合は、情報処理技術者試験規則別表に掲げる当該試験に係る試験の科目のうち、第1号に規定する情報処理システムに関する基礎知識及び第2号に規定する情報処理システムの開発に関する共通の基礎知識を免除するものである。

変更前	変更後
別紙 2-2	別紙
(省略)	(省略)
4 特定事業の内容	4 特定事業の内容
(省略)	(省略)
(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目 資格名称 「情報処理技術者能力認定試験（2級）」 試験科目	(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目 資格名称 「情報処理技術者能力認定試験（2級）」 試験科目

「情報処理技術者能力認定試験 (2級 第1部)」 試験項目 以下のとおり			「情報処理技術者能力認定試験 (2級 第1部)」 試験項目 以下のとおり		
	出題分野		試験項目	出題内容	
(A)	情報の基礎理論	1	基数変換, データ表現, 演算と精度, 論理演算, 符号理論	テ ク ノ ロ ジ 系	1 基礎理論
		2	状態遷移, グラフ理論, オートマトン と形式言語		1 基礎理論
		3	計算量と情報 量		基数変換, データ表現 演算と精度, 論理演算など 確立と統計, 数値解析, 数式処理, グラフ理論など 符号理論, 述語論理, オートマトン, 計算量など 伝送理論(伝送路, 変調方式, 誤り検出・訂正など)

変更前			変更後		
(B)	データ構造 とアルゴリズム	1	データ構造, アルゴリズム の基礎		2 アルゴリズムと プログラミング
		2	流れ図, 決定 表, BN記法, ポーランド記 法		データ構造(スタックと キュー, 2分木, リストなど)
		3	各種アルゴリズム, データ型など		流れ図の理解, アルゴリズム (整列, 探索, 併合など) プログラム構造, データ型など

			アルゴリズムの効率			プログラム言語 (種類と特徴など)
(C)	ハードウェア	1	半導体と集積回路	2 コンピュータシステム	3 コンピュータ構成要素	コンピュータの構成, 動作原理, プロセッサなど
		2	プロセッサ, 動作原理			主記憶, キャッシュメモリ, 半導体メモリなど
		3	メモリ, 記憶媒体, 補助記憶装置			補助記憶装置や媒体 (種類と特徴, 性能計算など)
		4	入出力インタフェース, 入出力装置 接続形態・接続媒体			入出力装置 (種類と特徴, 性能計算など)
		5	コンピュータの種類と特徴			4 システム構成要素
						システムの利用形態, システム構成など
						クライアントサーバシステム, RAIDなど
						システムの性能, 信頼性, 経済性など

変更前				変更後			
(D)	基本ソフトウェア	1	プロセス管理, 割り込み制御	5	ソフトウェア	オペレーティングシステム (タスク管理, 記憶管理など)	
		2	主記憶管理, 仮想記憶			ミドルウェア (API, ライブラリ, シェルなど)	
		3	入出力制御, ジョブ管理			ファイルシステム (ディレクトリ, ファイル編成など)	
		4	ファイル管理, 障害管理			言語処理ツール (コンパイラ, リンカ, ローダなど)	
		5	ミドルウェア				
(E)	システム	1	システム構成				

	構成と方式		方式, 処理形態		CASE, エミュレータ, シミュレータなど
		2	システム性能, 信頼性	6	ハードウェア
		3	応用システム		基本論理回路, 組合せ回路など
(F)	システム開発と運用	1	プログラム構造, 制御構造	3	技術要素
		2	プログラム言語, 言語処理系	7	ヒューマンインタフェース
		3	EUC, EUD, ソフトウェアの利用		GUI, 帳票設計, 画面設計 コード設計など
		4	開発手法, 設計手法, テスト手法	8	マルチメディア
		5	システムの環境整備, 運用管理		オーサリングツール, JPEG, MPEGなど

変更前			変更後		
(G)	ネットワーク技術	1	プロトコルと伝送制御	9	データベース
		2	符号化と伝送技術		データベースのモデル, DBMSなど
		3	LANとインターネット		データ分析, データベースの設計, データの正規化など
		4	電気通信サービス		データ操作, SQLなど
		5	伝送媒体, 通信装置		排他制御, 障害回復, トランザクション管理など
					データウェアハウス, データマイニングなど

		6	ネットワーク ソフト			10 ネットワーク
(H)	データベ ース技術	1	データベース モデル			インターネット(各種プロト コル, IPアドレスなど)
		2	データの 分析・正規化			LANとWAN(トポロジ, 回線, DSU, モデムなど)
		3	データ操作			LANのアクセス制御方式, LAN間接続装置など
		4	データベース 言語, SQLの利用			OSI基本参照モデル, HDLC, ネットワーク性能など
		5	DBMSの 機能と特徴			ADSL, FTTH, CATV回線, イントラネットなど
		6	データベース 制御機能 (排他制御, リカバリ)			

変更前				変更後			
(I)	セキュリ ティ	1	セキュリティ 対策			11 セキュリティ	
		2	プライバシー 保護				暗号技術, 認証技術, 利用者確認など
		3	ガイドライン				ウイルスの種類と特徴, ウイルス対策など
(J)	標準化	1	情報システム の基盤の 標準化			不正アクセス, 不正侵入, 不正行為の種類と対策など	
		2	データの 標準化			開発技術	

(K)	情報化と 経営	3	標準化組織			業務分析と要件定義 (DFD, E-R図, UMLなど)
		1	経営管理 (経営戦略, 組織と役割 マーケティングなど)			モジュール分割と独立性, オブジェクト指向など
		2	情報化戦略(業 務改善など)			構造化プログラミング, コーディングなど
		3	IE分析手法, 管理図			テスト手法, レビュー手法, デバッグツールなど
		4	確立と統計			13 ソフトウェア開発 管理技術
		5	最適化問題, 意思決定理論			ソフトウェア開発手法 (スパイラルモデルなど)
		6	情報システム の活用 (ビジネスシ ステム, 企業間シ ステムなど)			SLCP, リバースエンジニア リングなど
		7	関連法規 (情報通信, 知 的財産権)	マ ネ ジ メ ン ト 系	5 プロジェクトマネジメント	14 プロジェクト マネジメント
						コスト見積り(ファンクショ ンポイント法など)
						日程計画 (アローダイアグラムなど)
						進捗管理, 品質管理, コスト管理など

変更前	変更後
-----	-----

スト ラ テ ジ 系	6	サービスマネジメント
	15	サービスマネジメント
		ITIL (サービスサポート, サービスデリバリなど)
		コンピュータの運用・管理, システム移行など
	7	システム戦略
	17	システム戦略
		業務プロセス (業務改善, BPR, SFAなど)
	8	経営戦略
	19	経営戦略マネジメント
		経営戦略手法 (コアコンピ タンス, PPMなど)
	マーケティング理論, マーケティング手法など	
	経営管理システム (CMR, SCM, ERPなど)	
	21	ビジネスインダストリ
		ビジネスシステム (POSシ ステム, EOSなど)
		エンジニアリングシステム (CAD, CAM, MRPなど)
		e-ビジネス (EC, EDI, RFIDなど)

変更前	変更後																										
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="810 416 879 461">9</td> <td data-bbox="879 416 1362 461">企業と法務</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 461 879 506"></td> <td data-bbox="879 461 1362 506">22 企業活動</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 506 879 613"></td> <td data-bbox="879 506 1362 613">経営組織（事業部制組織， CIOなど）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 613 879 759"></td> <td data-bbox="879 613 1362 759">ヒューマンリソース （OJT, CDP, MBOなど）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 759 879 860"></td> <td data-bbox="879 759 1362 860">経営管理と問題発見技法 （PDCA, KJ法など）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 860 879 960"></td> <td data-bbox="879 860 1362 960">OR・IE（線形計画法， 品質管理，在庫問題など）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 960 879 1061"></td> <td data-bbox="879 960 1362 1061">会計・財務（財務会計， 管理会計，リースなど）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 1061 879 1106"></td> <td data-bbox="879 1061 1362 1106">23 法務</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 1106 879 1207"></td> <td data-bbox="879 1106 1362 1207">知的財産権（著作権， 産業財産権など）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 1207 879 1352"></td> <td data-bbox="879 1207 1362 1352">ガイドライン （ソフトウェア管理 ガイドラインなど）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 1352 879 1453"></td> <td data-bbox="879 1352 1362 1453">標準化団体 （JIS, ISO, IEEEなど）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 1453 879 1599"></td> <td data-bbox="879 1453 1362 1599">各種コード（文字コード， QRコード， ISBNコードなど）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="810 1599 879 1740"></td> <td data-bbox="879 1599 1362 1740">補助単位（T, G, M, k, ミリ, マイクロ, ナノ， ピコ）</td> </tr> </table>	9	企業と法務		22 企業活動		経営組織（事業部制組織， CIOなど）		ヒューマンリソース （OJT, CDP, MBOなど）		経営管理と問題発見技法 （PDCA, KJ法など）		OR・IE（線形計画法， 品質管理，在庫問題など）		会計・財務（財務会計， 管理会計，リースなど）		23 法務		知的財産権（著作権， 産業財産権など）		ガイドライン （ソフトウェア管理 ガイドラインなど）		標準化団体 （JIS, ISO, IEEEなど）		各種コード（文字コード， QRコード， ISBNコードなど）		補助単位（T, G, M, k, ミリ, マイクロ, ナノ， ピコ）
9	企業と法務																										
	22 企業活動																										
	経営組織（事業部制組織， CIOなど）																										
	ヒューマンリソース （OJT, CDP, MBOなど）																										
	経営管理と問題発見技法 （PDCA, KJ法など）																										
	OR・IE（線形計画法， 品質管理，在庫問題など）																										
	会計・財務（財務会計， 管理会計，リースなど）																										
	23 法務																										
	知的財産権（著作権， 産業財産権など）																										
	ガイドライン （ソフトウェア管理 ガイドラインなど）																										
	標準化団体 （JIS, ISO, IEEEなど）																										
	各種コード（文字コード， QRコード， ISBNコードなど）																										
	補助単位（T, G, M, k, ミリ, マイクロ, ナノ， ピコ）																										